

2019年12月2日
行政報告資料
政策経営部企画政策課
経営改革室
財務部財政課
資産税課

新たな基本構想・基本計画
「（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040」について

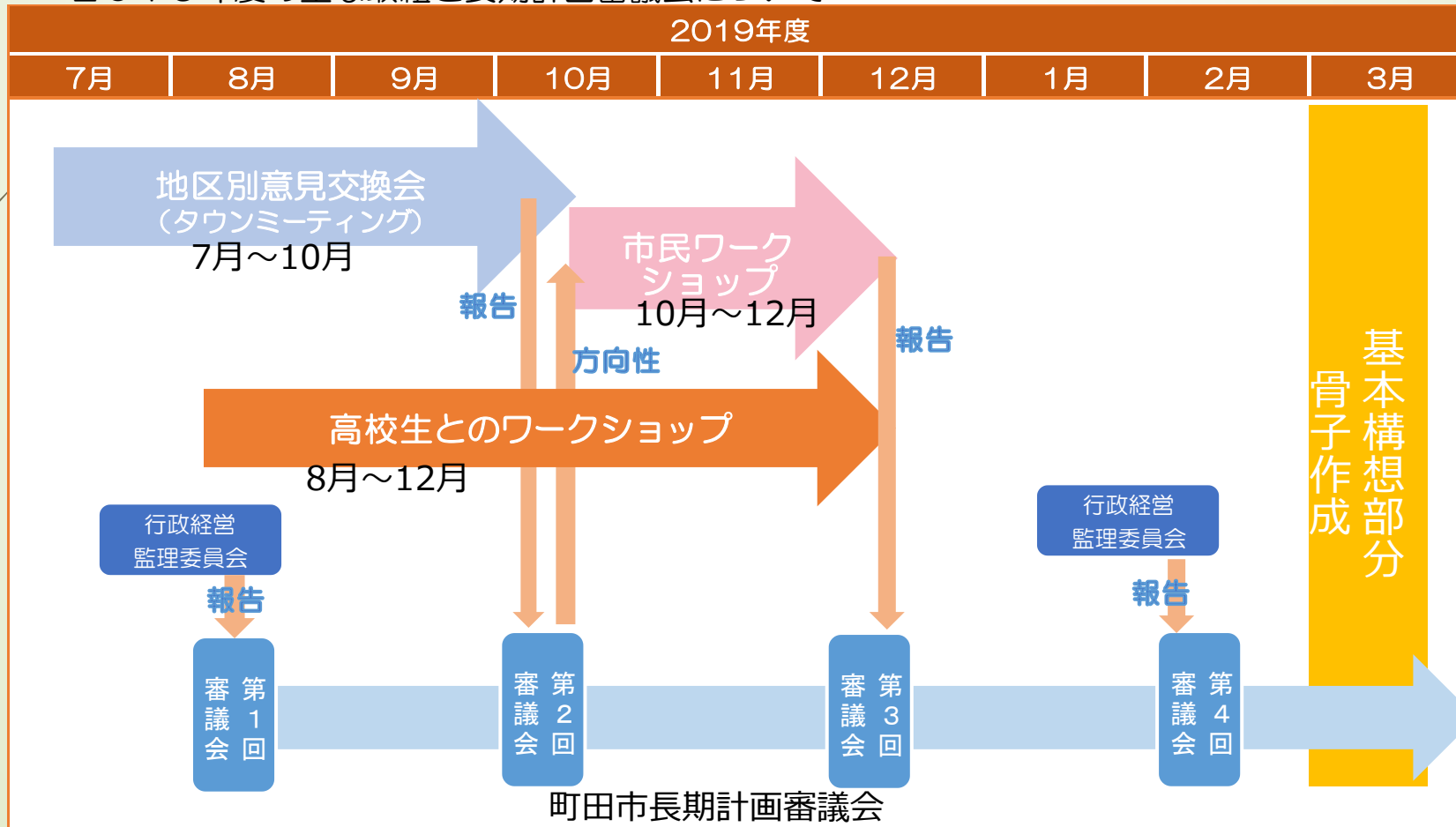
目次

- 1 「（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040」の策定に向けた取組について
- 2 各種ワークショップ等の取組について
 - ＜まちづくり＞
 - （1）地区別意見交換会（タウンミーティング）
 - （2）大学生とのワークショップ
 - （3）高校生とのワークショップ
 - （4）子育て世帯インタビュー
 - （5）外国人市民インタビュー
 - （6）無作為抽出型市民ワークショップ
 - ＜行政経営＞
 - （7）町田市行政経営監理委員会
 - （8）市政モニターアンケート調査
 - （9）学生ワークショップ
- 3 長期計画審議会での審議内容について

1 「（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040」 の策定に向けた取組について

2019年度は、地区別意見交換会や各種ワークショップなどを実施し、審議会での審議を経て、基本構想部分の骨子を作成します。

■ 2019年度の主な取組と長期計画審議会について



2 各種ワークショップ等の取組について

(1) 地区別意見交換会（タウンミーティング）

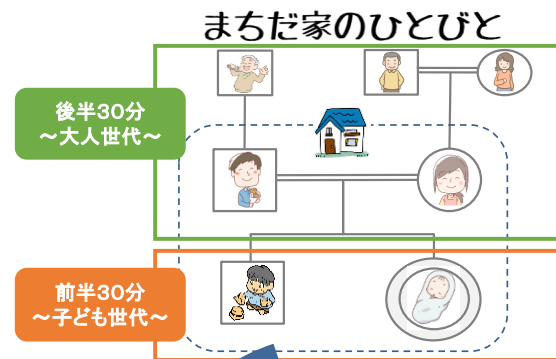
～地区別意見交換会（タウンミーティング）実施概要～

開会・挨拶
説明・案内
(15分)

自己紹介
(15分)
意見交換
(30分×2)

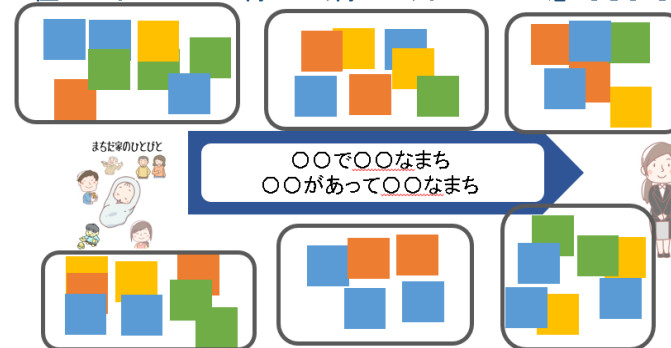
意見の
まとめ
・発表
(20分)

- 町田の将来像といった漠然としたテーマの中、議論のよりどころとなる家族を設定し、ファシリテーター（市職員）が話題を振りながら、「町田に住んでよかった!」、「町田で育て（育てて）よかった!」と思えるまちがどのようなまちかを考え、語ります。
 - ➔まず前半の30分で『子ども世代』、後半の30分で『大人世代』にとって、どのようなまちがいいかについて語ります。
- 出た意見をもとに、キーワードや似た分類でグルーピングし、なりたいまちの姿を考え、発表します。



- ★町田市の現状や社会状況の変化を見据えたモデル家族の設定
- ➔参加者は自身の経験等を振り返りながら、また将来の社会状況の変化を想像して、未来の町田について考えます。

住んでよかった! 育て(育てて)よかったと思えるまちは...



タウンミーティング・ワークショップの特徴

市民意識調査に代表される町田市の現状に対して意見を伺う調査等とは異なり、参加される皆さんが町田市やお住いの地域の良さを認識しながら、未来志向でポジティブに、そして自由に考え、語っていただくことが特徴で、前向きに未来の（2040年に向けた）まちだがどうなっているのがいいか語っていただきます。

2 各種ワークショップ等の取組について

(1) 地区別意見交換会（タウンミーティング）

■開催日

	地区	日時			場所
1	町田第一	7月24日	水	19:00	市民文学館 大会議室
2	鶴川	8月22日	木	18:00	鶴川市民センター ホール
3	相原	8月27日	火	18:30	堺市民センター ホール
4	小山	8月31日	土	14:00	小山市民センター 第1、2会議室
5	高ヶ坂・成瀬	9月7日	土	10:00	成瀬コミュニティセンター 多目的室AB
6	木曾	9月21日	土	10:00	教育センター 4F 第2会議室
7	忠生	9月23日	月	10:00	忠生市民センター ホール
8	玉川学園・南大谷	9月29日	日	14:00	玉川学園 さくらんぼホール
9	南	10月13日	日	18:00	南市民センター ホール
10	町田第二	10月26日	土	10:00	市庁舎 おうえんルーム

■開催結果例（忠生地区）

地区名	人数	グループ	住みたい（なりたい）まちの姿
忠生	33人	A	●安心できるつながりのある帰ってきたくなるまち
		B	●でかかたくなるまち
		C	●遊び場とつながれる場に行きやすい町
		D	●やさしさつながる町づくり良い所を発信する町田
		E	●子どもが活動できる場所が多いまち

■日時・場所
 2019年9月23日
 （月）
 忠生市民センター
 ■主な参加者
 町内会・自治会、子ども会、地区協議会、PTA、青少年健全育成委員、中学生



・・・各地区の詳細は別紙1

※各回2時間実施

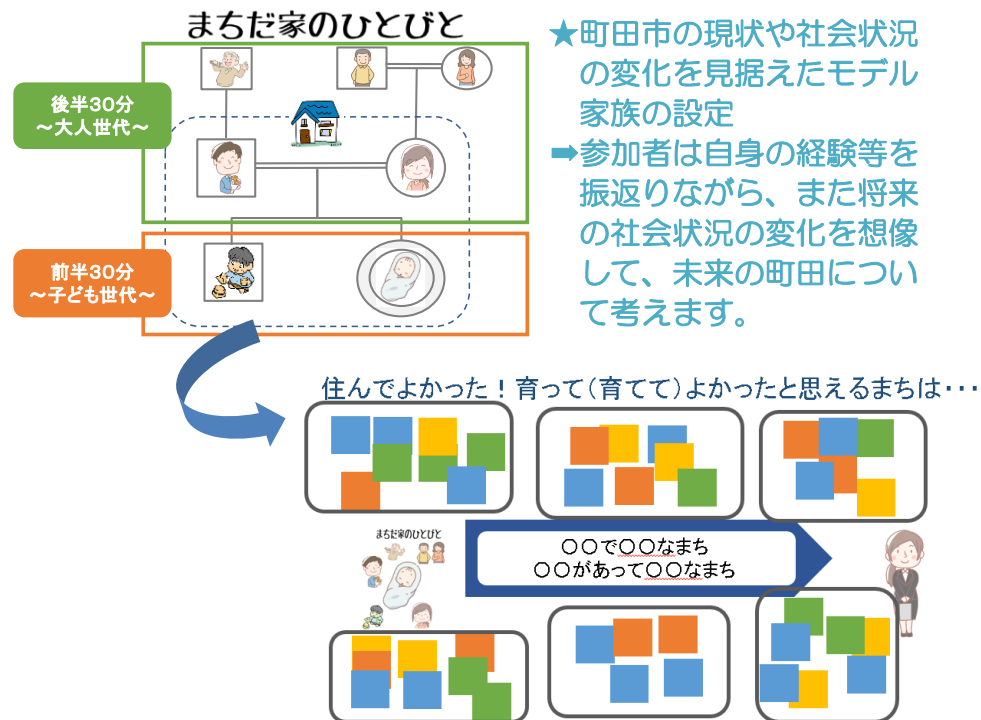
2 各種ワークショップ等の取組について

(2) 大学生とのワークショップ

～大学生とのワークショップ実施概要～

- 開会・挨拶
説明・案内
(15分)
- 自己紹介
(15分)
意見交換
(30分×2)
- 意見の
まとめ
・発表
(20分)

- 町田の将来像といった漠然としたテーマの中、議論のよりどころとなる家族を設定し、ファシリテーター（市職員）が話題を振りながら、「町田に住んでよかった!」、「町田で育て（育てて）よかった!」と思えるまちがどのようなまちかを考え、語ります。
 - ➡まず前半の30分で『子ども世代』、後半の30分で『大人世代』にとって、どのようなまちがいいかについて語ります。
- 出た意見をもとに、キーワードや似た分類でグルーピングし、なりたいまちの姿を考え、発表します。



- ★町田市の現状や社会状況の変化を見据えたモデル家族の設定
- ➡参加者は自身の経験等を振り返りながら、また将来の社会状況の変化を想像して、未来の町田について考えます。

	人数	グループ	住みたい(なりたい)まちの姿
大学生	22人	A	●町田のほこり3A (あんしん、 あんぜん、 あったかい)
■日時 2019年8月9日 (金) 10:00~14:00		B	●形あるサービスと 形ないサービスの充実したまち ~まちだをもっと好きになる~
■場所 市庁舎おうえんルーム		C	●ゆとりをもって夢を追えるまち
		D	●人と人、場所と場所のつながりが濃いまち

・・・詳細は別紙1



2 各種ワークショップ等の取組について

(3) 高校生とのワークショップ

<目的>

「これから大人」になる「今の若者」である高校生世代に、自分たちが生きる未来の町田の姿を描いてもらうこと。

<参加者>

- 町田市と一緒に町田の10年後、20年度の未来を考える若者グループ「町田創造プロジェクト（MSP）」のメンバー。
- メンバーは、市内在住、在勤、在学の15～18歳の方。
(中学生を除く)

2 各種ワークショップ等の取組について

(3) 高校生とのワークショップ

<開催概要>

	開催回	日時			場所	参加人数	内容
1	第1回	8月20日	火	10:00~12:00	おうえんルーム	20名	・町田市の現状と社会状況の変化について ・誰のために町田の未来をつくりたい？ ・町田ってどんなまち？ ・子ども世代にとって住んで(育って)よかったと思えるまちはどんなまち？
2	第2回	9月12日	木	19:30~20:00	2階会議室	11名	・今の町田市基本構想と基本計画の構成(つくり)について ・どんな構成ならみんなで目指せるビジョンにできるか
3	第3回	9月26日	木	19:00~20:00	おうえんルーム	7名	・子ども世代にとって住んで(育って)よかったと思えるまちについての意見をまとめてみよう
4	第4回	10月10日	木	19:00~20:00	5階会議室	11名	・子ども世代にとっての、なりたいまちの姿を考えよう
5	第5回	10月24日	木	19:30~20:00	2階会議室	8名	・子ども世代以外にとって住んで(育って)よかったと思えるまちはどんなまち？(1回目)
6	第6回	11月7日	木	19:00~20:00	おうえんルーム	9名	・子ども世代以外にとって住んで(育って)よかったと思えるまちはどんなまち？(2回目)
7	第7回	11月28日	木	18:30~19:30	2階会議室	5名	・子ども世代以外にとってのなりたいまちの姿を考えよう
8	第8回	未定		未定	未定		・子ども世代と子ども世代以外にとってのなりたいまちの姿を踏まえて、町田のなりたい未来の姿(キャッチフレーズ)を考えよう。
9	第9回	未定		未定	未定		・MSPが検討した、町田のなりたい未来の姿の取りまとめ。

※町田創造プロジェクト(MSP)の定例会が隔週木曜日の18:00~20:00に開催されるため、定例会に合わせて実施しています。

2 各種ワークショップ等の取組について

(3) 高校生とのワークショップ <検討内容>

■ 子ども世代にとっての「なりたいまちの姿」

なりたい未来の姿（キャッチフレーズ）

● チャンサーメーカー町田

● チャンサーをつかめるまち

● 未来の設計図

● 学業が多彩なまち

● 子どもの主体性を育めるまち

● 地域の見守りと、やりたいことができる環境／知識に触れられる環境があるまち

● いろいろな学べる場所、人との触れ合いの機会があるまち

● 今の自分も将来の自分も大切にできるまち

● いろいろなことにチャレンジできる機会を選べるまち

● 知りたいことが知れるまち

● きっかけを大切にすまち

● 子ども自身が、施設がある事を知れるまち チャンサーをつかみやすい

● 芸術・文化のまち

● 子どもの主体性を育み、将来設計できるまち

2 各種ワークショップ等の取組について

(4) 子育て世帯インタビュー

子育て世帯インタビュー実施概要

実施目的

- 町田市の強みである子育て環境の魅力をさらに向上させるため、子育て世帯が抱える課題を把握します。

対象者

- 町田市にお住いの子育て中の方。

実施場所

- 【9/18、15名】鶴川地区協議会3水スマイルラウンジ
- 【11/12、29名】健康福社会館3歳児検診

実施方法

- 来場者に対して協力を依頼し実施。
- 目的を説明した後、5分程度意見を伺う。

インタビューの内容（質問の表記を一部簡略しています）

- Q1 町田市に住むようになって何年ですか？きっかけは何ですか？
- Q2 お子様は何人ですか？（それぞれ）何歳ですか？
- Q3 よく出かける場所はどこですか？どのような理由からですか？
- Q4 町田市が他市と比べて優れている点（子育てして助かっている点）は何ですか？
- Q5 町田市が他市と比べて劣っている点（子育てして困っている点）は何ですか？
- Q6 一緒に子育てしてくれる人はいますか？誰ですか？その方に市ができる支援は？
- Q7 町田市が今後充実させるべき子育て環境やサービスは何だと思えますか？
- Q8 今後も町田市に住み続けたいですか？
- Q9 町田市へのご意見等があれば教えてください。
- Q10 その他

- ・・・結果の詳細は別紙1にまとめています

2 各種ワークショップ等の取組について

(5) 外国人市民インタビュー

外国人市民インタビュー実施概要

実施目的

- 今後増加が見込まれる外国人市民が地域と共生するために必要なことを把握すること。

対象者

- 町田市国際交流センターの日本語教室受講者。

実施場所

- 【11/7・8、17名】町田市国際交流センター

実施方法

- 日本語教室の各グループごとに、目的を説明した後、15分程意見を伺う
- 各グループは、2名～6名。

インタビューの内容（質問の表記を一部簡略しています）

- Q1 出身の国を教えてください。
- Q2 日本に住むようになってから、何年になりますか。また、町田市に住んでいますか。
- Q3 町田市を住みやすいまちだと思いますか。また、それはなぜですか？
- Q4 町田市に住んでいて、困っていることはありますか。
- Q5 生活するうえでほしい情報はありますか。ほしい情報をどのように手に入れますか。
- Q6 近くに住む日本人とどの程度付き合い（交流）がありますか。近くに住む日本人との付き合い（交流）は希望しますか。また、自治会に加入したいと思いますか。
- Q7 様々な国と地域の外国人市民にとって住みやすくなるためには、町田市はどのような点を直したらいいですか。
- Q8 その他に市役所への意見・要望等がありましたら、教えてください。

- • • 結果の詳細は別紙1にまとめています

2 各種ワークショップ等の取組について

(6) 無作為抽出型市民ワークショップ

<目的>

市民の方々と一緒に町田市の未来の姿を考え、市民の方々の言葉で表現した「(仮称) 2040なりたい未来(基本構想相当部分)」の案をつくること。

<参加者>

30名

- ① 日頃、地域のことや行政に対する思いなどを伝える機会が少ない方にとって1つのきっかけにもなるように、住民基本台帳から18歳以上の市民の方々を無作為抽出して依頼文を発送(2,000名)。
- ② 参加申し込みのあった方から、年齢や居住地などを総合的に勘案して30名に参加者を決定。
- ③ ワークショップ実施時は基本的に、多世代での議論ができるように、年齢や居住地などを考慮して、5グループ(6名)に分かれてもらい実施。

2 各種ワークショップ等の取組について

(6) 無作為抽出型市民ワークショップ

<開催概要>

	開催回	日時		場所	内容	
1	第1回	10月19日	土	10:00～12:00	町田市民文学館 大会議室	ワークショップの目的や町田市の現状、地区別意見交換会の実施結果などの情報提供
2	第2回	10月27日	日	10:00～12:00	町田市庁舎 3階会議室	なりたいまちの姿(都市像)①を検討
3	第3回	11月10日	日	10:00～12:00	町田市生涯学習センター 6階学習室	なりたいまちの姿(都市像)②を検討
4	第4回	11月16日	土	10:00～12:00	町田市庁舎 3階会議室	なりたいまちの姿(都市像)③を検討
5	第5回	11月23日	土	10:00～12:00	町田市庁舎 2階会議室	3つのなりたいまちの姿(都市像)の検討を経て、一言で表す町田市のなりたい未来の姿を検討
6	第6回	12月7日	土	10:00～12:00	町田市庁舎 3階会議室	なりたいまちの姿(都市像)を実現させるために、何が必要か、誰がどのようなことができるかを検討

2 各種ワークショップ等の取組について (6) 無作為抽出型市民ワークショップ <第1回>

<プログラム概要>

- ①ワークショップの目的の共有 ②自己紹介 ③グランドルールづくり ④情報提供 ⑤2040年の町田の姿を描く



2 各種ワークショップ等の取組について (6) 無作為抽出型市民ワークショップ <第2回>

【ステップ①】



【ステップ②】

- 子どもが育ちたいと思うようなまち
- 子どもがここで育ってよかったと思うまち
- 子どもを産み育てたいと思えるまち

では…

グループ

子ども

【ステップ③】

グループ

チーム

子どもが

ために、

が、

まち

2 各種ワークショップ等の取組について (6) 無作為抽出型市民ワークショップ <第2回>



2 各種ワークショップ等の取組について (6) 無作為抽出型市民ワークショップ〈検討結果〉

■ なりたいまちの姿（都市像）①の検討結果

A

子どもが **自然の中で、のびのび、ありのまま成長する** ために、
寄り添う人 が、 **たくさんいて色々な寄り添い方をしている** まち

B

子どもが **のびのびと健やかに育っていい思い出をつくるようになる** ために、
家族 が、 **じっくりふれあう時間と場所がもてる** まち

C

子どもが **友だちをたくさんつくることのできるまち** ために、
祖父母 が、 **子どもたちと表に出て一緒に遊べる元気で地域社会に参加する**
地域 が、 **明るく開放的な場所を提供できる地域の中でたくさんのレクリエーションが楽しめる子ども同士が交流できる場や機会を提供できる** まち

子どもが **安心・安全に過ごすことのできるまち** ために、
祖父母 が、 **安心・安全に過ごすためのルールを教える地域の子どもたちに声掛けし・見守る人々が元気な**
地域 が、 **つながる笑顔で挨拶し合う 人と人の顔が見える地域全体で子どもたちを見守る** まち

D

子どもが **多くの人と触れあい、のびのびと安心して育つ** ために、
地域 が、 **子どもの立場になって環境を整えられる地域と子どもがつながっている地域で助け合いながら子どもを育てる** まち
職場 が、 **仕事と子育てを両立しやすい制度・環境がある子育てに対して理解があり協力的である**

E

子どもが **笑顔で暮らし続けられる** ために、
行政 が、 **多様性豊かなつながりをつくる** まち

2 各種ワークショップ等の取組について

(6) 無作為抽出型市民ワークショップ <第3回>

【ステップ①】

まちづくりの方向性

- 豊かな暮らしができるまち
- ちょうどいい楽しいまち
- 自分のライフにワクワクできるまち

【ステップ②】

●豊かな暮らしができるまち、
●ちょうどいい楽しいまち、
●自分のライフにワクワクできるまち、

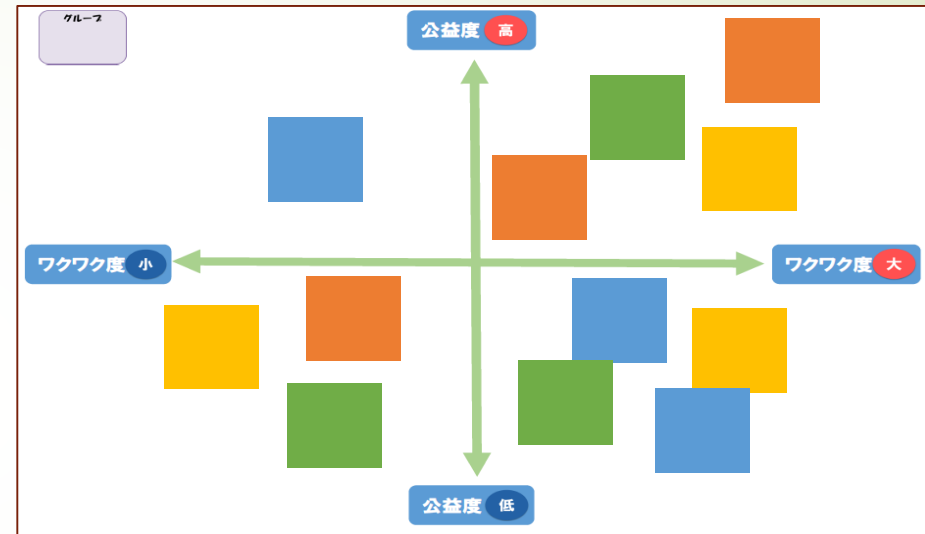
では…

グループ

わたしが

まち

【ステップ③】



【ステップ④】

グループ

チーム

わたしが

●●●で○○○な

まち

2 各種ワークショップ等の取組について (6) 無作為抽出型市民ワークショップ <第3回>



2 各種ワークショップ等の取組について (6) 無作為抽出型市民ワークショップ〈検討結果〉

■ なりたいまちの姿（都市像）②の検討結果

A

わたしが

やりたいことをできるきっかけや場がある
その為に、多世代がイベントを創っていて、
お店や緑など、地域によって、個性がある

まち

B

わたしが

豊かな生活と充実した仕事、楽しい遊びが身近に
感じられてすべてが完結する

まち

C

わたしが

年をとってもひとりで気軽にたい焼きを食べに行ける
東京カントリーライフを楽しめる

まち

D

わたしが

豊かな緑と交通基盤を充実させて、興味を通じて
コミュニケーションをとりながら市内外の人が楽しめる

まち

E

わたしが

多世代と交流でき、気軽に
自然・文化・スポーツ・産物にふれられる

まち

2 各種ワークショップ等の取組について

(6) 無作為抽出型市民ワークショップ <第4回>

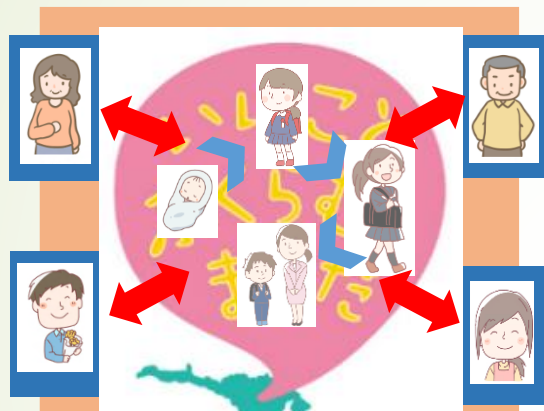
【ステップ②】

【ステップ①】

- 子どもが育ちたいと思うようなまち
- 子どもがここで育ってよかったと思うまち
- 子どもを産み育てたいと思えるまち

- 豊かな暮らしができるまち
- ちょうどいい楽しいまち
- 自分のライフにワクワクできるまち

- まちがなんとなく家族のようなまち
- 人と人が手を取り合い地域をつくるまち
- 多様性を認め合えるまち



都市像①を実現するために、地域が
どうなっていればいいのか。

都市像②を実現するために、地域が
どうなっていればいいのか。

「2040年のまちだ」では、都市像① 子ども～

(範囲／主体) で

どんなことが起きている／どんなつながりがある

「2040年のまちだ」では、都市像② 豊かな～

(範囲／主体) で

どんなことが起きている／どんなつながりがある

【ステップ③】

グループ

チーム

「2040年のまちだ」では、

(範囲／主体) で

どんなことが起きている／どんなつながりがある

2 各種ワークショップ等の取組について (6) 無作為抽出型市民ワークショップ <第4回>



2 各種ワークショップ等の取組について (6) 無作為抽出型市民ワークショップ〈検討結果〉

■ なりたいまちの姿（都市像）③の検討結果

A

「2040年のまちだ」では、

企業と行政と生活者

で

かけはしになるようなイベントを作れるまち

B

「2040年のまちだ」では、

学区域で多世代が

で

豊かなコミュニティを形成し、
家族を超えたつながりを実現するまち

C

「2040年のまちだ」では、

マチ全体

で

はじめてのおつかい／おてつだいができる町

D

「2040年のまちだ」では、

今ある学校や公園など
まち(地域)の中心や住んでいる範囲

で

高校生など子どもを主体として地域の人たちと
一緒にスポーツ・文化祭ができています

E

「2040年のまちだ」では、

子どもから大人まで多世代が
顔の見える範囲で

で

無理のない心地よい距離感の
支え合いを選択できる

2 各種ワークショップ等の取組について

(7) 町田市行政経営監理委員会

1 町田市行政経営監理委員会とは

町田市では、「市役所の生産性の向上」と「公共施設における行政サービス改革」の2つを改革の柱とする行政経営改革プランを着実に推進するため、外部有識者や市長・副市長等で構成する行政経営監理委員会を開催しています。この委員会では、専門的見地から行政経営改革プランに関する提言・提案等を行います。

2 2019年度第1回町田市行政経営監理委員会のテーマ

「2040年を見据えた今後の行政経営の方向性」

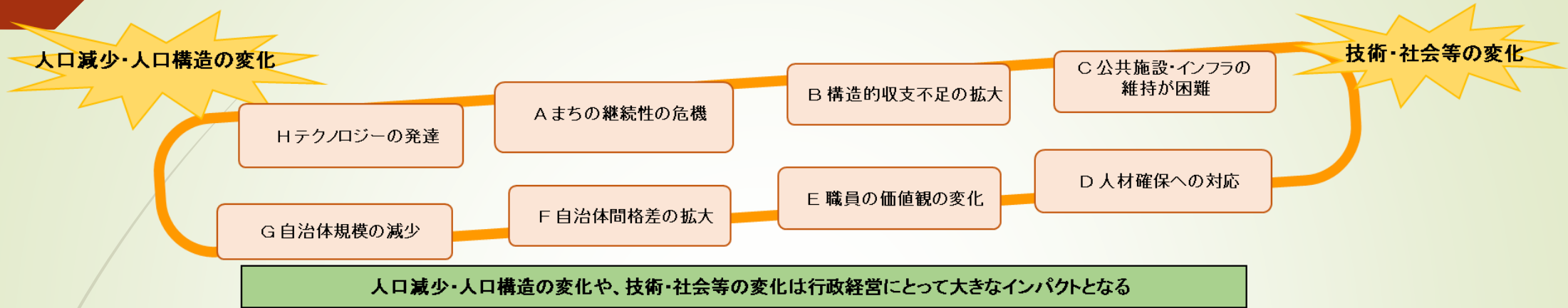
自治体経営における危機を迎えるとされる「2040年問題」が提起される中、町田市においても、2018年に初めて人口が減少し、今後、さらなる人口減少や人口構造の変化が見込まれています。行政経営の環境が激変し新たな課題に直面していく中でも町田市が選ばれ続けるために、本委員会では、新たな時代にふさわしい行政経営の方向性について議論しました。

3 2019年度第1回町田市行政経営監理委員会の概要

日時 : 2019年8月9日(金)午後2時30分～4時30分
会場 : 町田市庁舎3階会議室
出席者 : 委員) 岡本 正耿 委員、山本 清 委員、佐藤 主光 委員
 石阪 丈一 市長、高橋 豊 副市長、木島 暢夫 副市長
 幹事) 水越 経営改革室長、榎本 総務部長、堀場 財務部長、浦田 企画政策課長(代理出席)
傍聴者数 : 102名
事務局 : 政策経営部経営改革室

2 各種ワークショップ等の取組について

(7) 町田市行政経営監理委員会



人口減少・人口構造の変化や、技術・社会等の変化は行政経営にとって大きなインパクトとなる

インパクト1
行政課題のさらなる複雑化・多様化

- 急増する介護需要と一方での担い手不足や、利用者減少による公共交通の縮小等、人口変化を起因とした「まちの継続性の危機」とも言える困難な行政課題に直面していく
- 市民の価値観の変化・多様化や、「人生100年時代」の到来など、社会の変化に伴う新たなニーズ・課題への対応が求められる

インパクト2
行政の経営資源の不足

- 税収が伸び悩む一方で、社会保障関係経費や公共施設の維持補修費が増加していく
- ニーズが大きく変化する中、公共施設・インフラの維持・更新・再編を行う必要がある
- 人材確保が困難になる中、ICTの活用を前提とした行政運営が求められる

インパクト3
都市の個性や独自性の必要性

- 都心回帰がさらに進んでいく可能性
- 自治体間で、人口や職員人材の奪い合いが顕在化していく恐れ
- 自治体間で、まちの魅力や課題対応力がシビアに比較されていく

新たな行政経営の視点

視点1 コラボレーション

一自治体だけで取り組むのではなく、市民、地域、企業、大学、他自治体等と積極的に連携していくことで、新たなアイデアやサービスを生み出していくとともに、困難な行政課題に対応していく

視点2 スマート自治体

これまでの行政活動のやり方を抜本的に見直し、最新のテクノロジーを的確に活用するなど、新たなサービスデザインを進めていく

視点3 ブランディング

- ・人や企業等を惹きつける町田市のブランドを確立していく
- ・町田市全体のブランドイメージとともに、ターゲットに応じたブランドイメージを設定していく

3つの新たな行政経営の視点をもって、インパクトに対応していく

2 各種ワークショップ等の取組について

(8) 市政モニターアンケート調査

市政モニターアンケート調査実施概要

実施目的

- 町田市の行政経営に関する市民ニーズ等を把握し、新たな経営基本方針を作成するための基礎資料を得ることを目的とする

対象者

- 2019年度町田市市政モニターに登録している市内在住の満20歳以上の方
200名

回答者

- 138名

実施時期

- 2019年7月

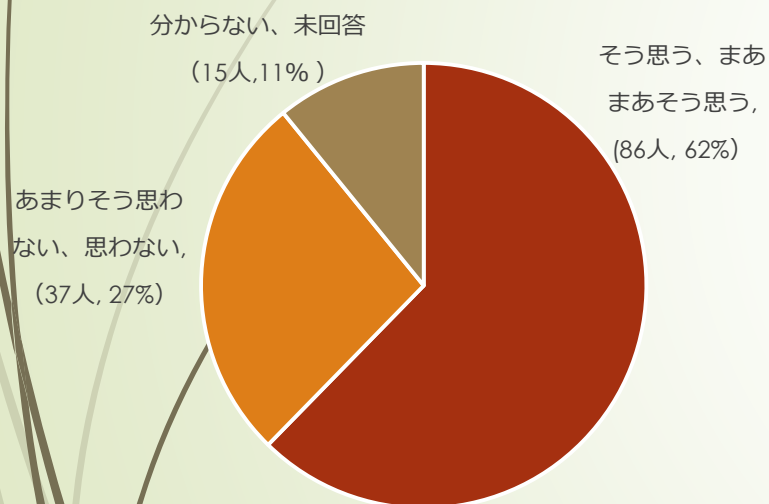
主な設問（表記を一部簡略しています）

市民に対する情報提供について
市民や地域の人々との連携・協働について
市民等の意見の取り入れについて
行政経営を取り巻く環境変化のうち関心の高いものについて
今後、町田市の行政運営において持つべき視点について
町田市の公民連携の取り組みの認知度について
民間事業者の持つノウハウや資金を活用した行政運営について
今後の「市民サービスの水準と費用負担のあり方」について
新たな経営基本方針の検討への参画について

2 各種ワークショップ等の取組について (8) 市政モニター (N=138)

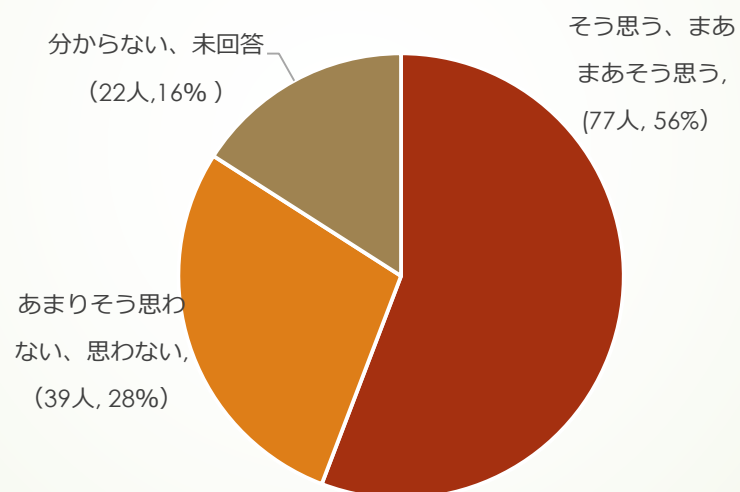
<主な意見>

市民に対して十分情報提供できていると思うか？



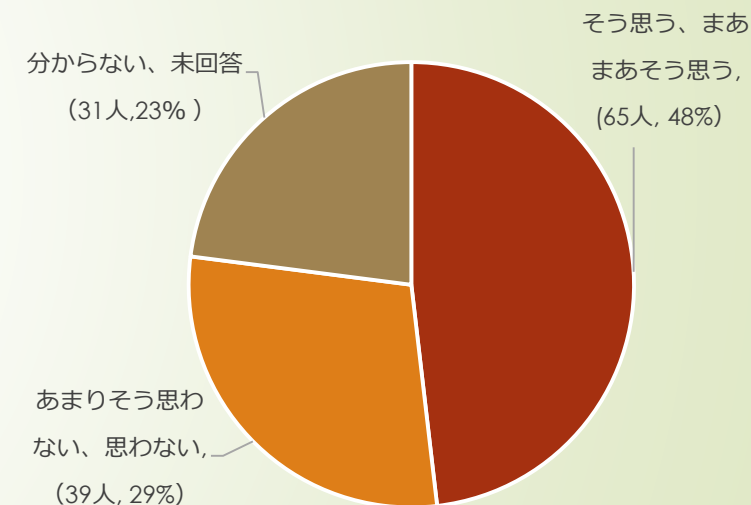
市民に対する情報提供については、「そう思う」「まあまあそう思う」が62%、「あまりそう思わない」「思わない」が27%であった

町田市は、市民や地域の人々と連携、協働ができていると思うか？



市民や地域の人々との連携・協働については、「そう思う」「まあまあそう思う」が56%、「あまりそう思わない」「思わない」が28%であった

町田市は、市民等の意見を積極的に取り入れているか？

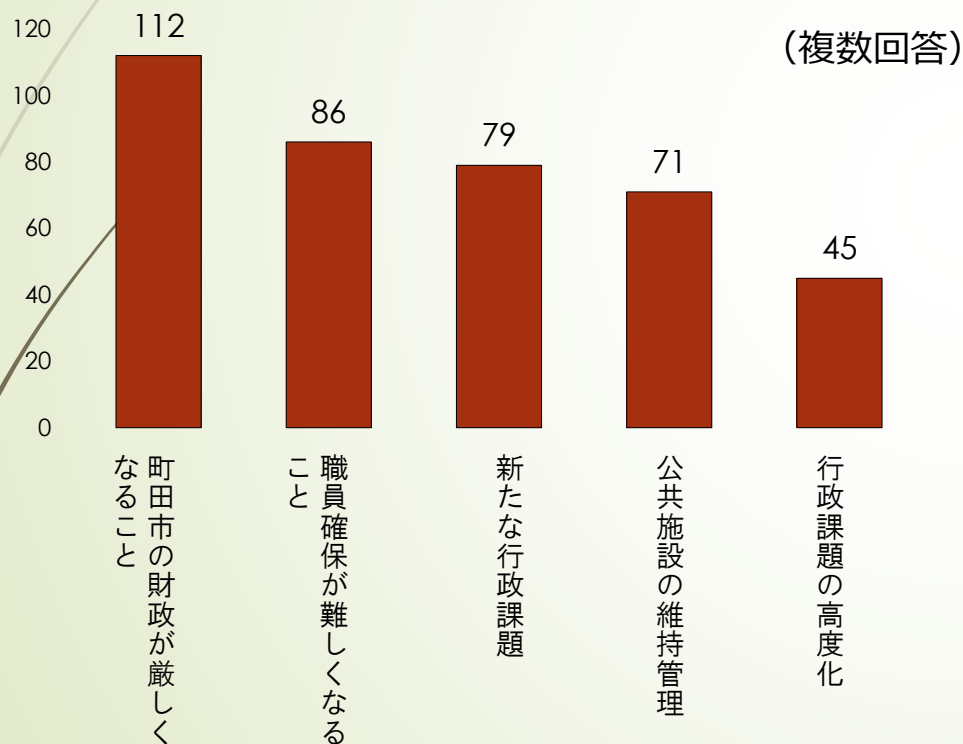


市民等の意見を積極的に取り入れているかについては、「そう思う」「まあまあそう思う」が48%、「あまりそう思わない」「思わない」が29%であった

2 各種ワークショップ等の取組について (8) 市政モニター (N=138)

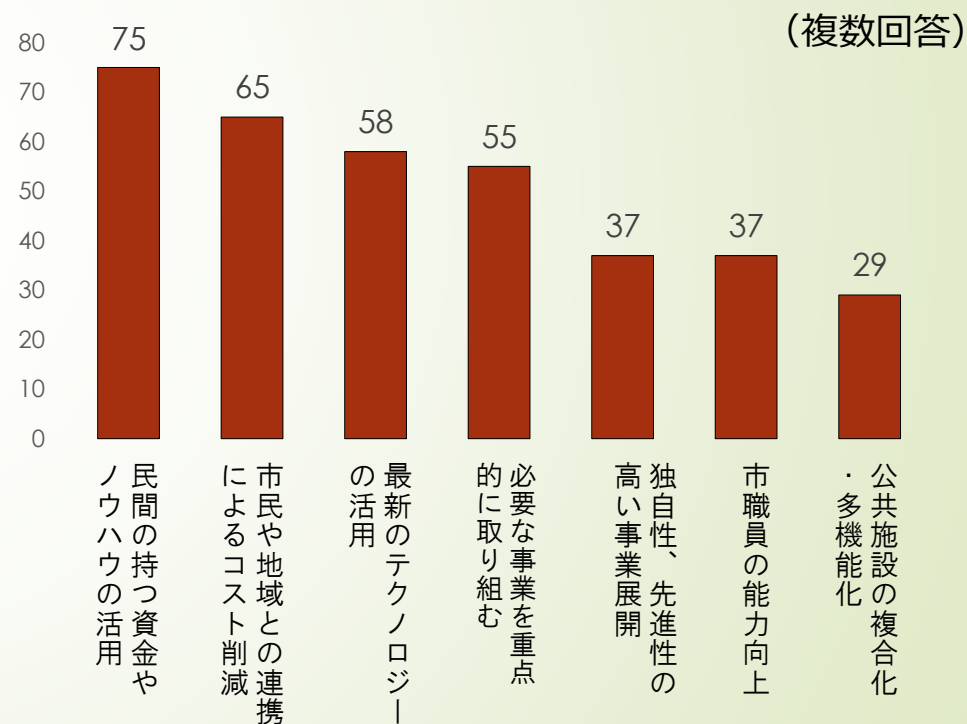
<主な意見>

町田市の将来人口の変化を受けて、今後、考えられる環境変化は？



町田市の財政が厳しくなること、職員確保が困難になること、新たな行政課題が起こるなどの環境変化が考えられると回答している

今後、町田市の行政運営において持つべき視点として、あなたが重要だと思うことは？



今後の行政経営において持つべき視点は、民間の持つ資金やノウハウの活用や市民や地域との連携によるとコスト削減などと回答している

2 各種ワークショップ等の取組について

(9) 学生ワークショップ

学生ワークショップ実施概要

実施目的

町田市の行政経営に興味をもってくれた学生に対し、行政経営のあり方などを伺い、新たな経営基本方針を作成するための基礎資料を得ることを目的とする

対象者①

2019年8月に町田市役所のインターンシップに参加した大学生

12名

対象者②

2019年度第1回町田市行政経営監理委員会に参加した学生

21名

実施時期

対象者①
9月25日（水）
17時～19時30分

対象者②
9月27日（金）
16時30分～19時

実施手法

1 グループ4～6名程度に分かれて、経営改革室職員との意見交換・グループワークを実施

主な内容

- ・ 行政経営監理委員会に関する意見交換
- ・ インターン前後の意識の変化について
- ・ 理想の組織像、人材像について
- ・ 今後の行政経営の方向性について

※学生に馴染みの少ない行政経営分野のワークショップを行うにあたり、実際に町田市で働いたインターン生や第1回町田市行政経営監理委員会で「2040年を見据えた今後の行政経営」の議論を傍聴した学生から希望者を募り、ワークショップを実施した。

2 各種ワークショップ等の取組について

(9) 学生ワークショップ

<主な意見と解決すべき課題>

テーマ1

公務員・市役所のイメージとギャップ

<公務員・市役所のイメージ>

- ・安定してそう、固いイメージ、年功序列
- ・税金をもらっているのに、定時で退社している
- ・書類仕分けや窓口だけやっている
- ・窓口が多く、理不尽なことも言われる

<インターンを経験した感想>

- ・市役所の業務内容の多様さに驚いた
- ・定時で帰れると思っていたけど違った
- ・できないことはできない、でもこうならできると、親身になってちゃんと話を聞いていた

<町田市への提案>

- ・行政に対する信用度を高めていくと良いと思います
- ・市役所のイメージを改善し、職員の頑張り伝えていくと良いと思います

テーマ2

働きやすい職場、理想の職場

<多様な働き方ができる職場>

- ・子育てしながらもしっかり働ける職場
- ・仕事とプライベートのメリハリがつけられる職場

<チャレンジできる職場>

- ・前例踏襲ではなく、変化を受け入れ、より良いものを作ろうとする職場
- ・風通しがよく、意見を言いやすい雰囲気があるとよい
- ・実力主義、フラットな関係の職場がよい

<町田市への提案>

- ・多様性を認め合い、柔軟な働き方ができる職場環境だと魅力を感じます
- ・各職員が持つ個性、スキル、経験等が十分に発揮される組織づくりをすると良いと思います
- ・主体性を持って、新たな課題に即応できる組織だと良いと思います

テーマ3

今後の行政経営のあり方

<行政経営への興味>

- ・市の予算など、広報に掲載されているが、読む気がしない。
- ・行政情報に対してあまり興味を持たない

<行政経営への提案>

- ・行政は財政状況等を市民に伝える義務があるのではないか
- ・年1回ではなく、SNSなどを活用し、数回発信していくべき
- ・そもそも興味がないのだから、情報発信のあり方を工夫しないと発信する意味がない
- ・住んでいる人が愛着や誇りを持てるまちづくりが必要

<町田市への提案>

- ・行政経営状況に関する情報発信は、伝え方や発信内容を工夫すると良いと思います
- ・人や企業などを惹きつけるよう、町田市の魅力を高めると良いと思います

3 長期計画審議会での審議内容について

【所掌事務】

審議会は、市長の諮問に応じ、「(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040」の策定に関し、必要な事項について調査、審議し、答申をすること。

<2019年度長期計画審議会開催スケジュール>

	開催回	日時		場所	主な報告事項及び議事(予定)	
1	第1回	8月19日	月	17:30~19:00	政策会議室	1 諮問 2 審議会の進め方 3 策定方針について 4 現行計画の振返り 5 将来人口推計について 6 町田市を取り巻く社会経済状況の変化への対応について 7 町田市の行政経営改革について
2	第2回	10月11日	金	13:00~15:00	会議室2-2	1 報告事項 ・転入者アンケート調査結果報告 ・各種ワークショップの取組状況報告 2 議事 ・(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040の構成について ・まちづくりの方向性について
3	第3回	12月16日	月	17:00~19:00	会議室2-1	1 報告事項 ・課題抽出用市民意識調査結果報告 ・各種ワークショップの取組状況報告 ・財政の現状と今後の見通しについて 2 議事 ・まちづくりの方向性と都市像について ・行政経営の方向性と経営像について
4	第4回	2月3日	月	15:00~17:00	会議室2-1	1 報告事項 ・各種ワークショップの取組状況報告 2 議事 ・(仮称)2040なりたい未来(基本構想相当部分)骨子案について

3 長期計画審議会での審議内容について

【第1回内容】

市長から審議会への諮問と事務局からの策定方針やこれまでの町田市取組、町田市の現状、社会経済状況の変化について報告しました。

次第（抜粋）

- 1 諮問
- 2 審議会の進め方
- 3 策定方針について
- 4 現行計画の振り返り
- 5 将来人口推計について
- 6 町田市を取り巻く社会経済状況の変化への対応について
- 7 町田市の行政経営改革について

3 長期計画審議会での審議内容について

【第2回内容】

事務局からの報告をした後、「（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040」の構成とまちづくりの方向性について議事が進められました。

次第（抜粋）

1 報告事項

- ・ 転入者アンケート調査結果報告
- ・ 各種ワークショップの取組状況報告

2 議事

- ・ （仮称）まちだ未来づくりビジョン2040の構成について
- ・ まちづくりの方向性について

3 長期計画審議会での審議内容について

< (仮称) まちだ未来づくりビジョン2040の構成について >

策定の背景

(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040を策定する背景として、「町田市の特性」や「社会経済状況の変化」、「もとめられるまちづくりの方向性」を整理します。

町田市の特性

社会経済状況の
変化

まちづくりの
方向性

(仮称)2040なりたい未来【基本構想部分】

策定の背景を踏まえて、「2040なりたい未来の姿」を掲げます。
そして、なりたいまちの姿(都市像)を掲げ、それを支える行政経営のあり方(経営像)を示します。

2040なりたい未来

なりたいまちの姿①
(都市像)

なりたいまちの姿②
(都市像)

なりたいまちの姿③
(都市像)

行政経営のあり方
(経営像)

【基本計画部分】

2040なりたい未来の姿を実現させるための目標を定めた政策を掲げます。また、その政策目標を達成するための具体的な取組である施策を目標とともに掲げます。

(仮称)まちづくり基本目標

政策①

政策②

政策③

政策④

政策⑤

政策⑥

政策⑦

政策…

施策①

施策②

施策③

施策④

施策⑤

施策⑥

施策⑦

…

2040なりたい未来の姿の実現に向けた「(仮称)まちづくり基本目標」を支える「(仮称)経営基本方針」を示します。

(仮称)経営基本方針

方針①

方針②

方針③

方針…

項目①

項目②

項目③

項目④

項目⑤

項目⑥

項目⑦

…

3 長期計画審議会での審議内容について

<まちづくりの方向性について>

審議会の審議によって、次の3つの大きな方向性が示されました。今後は、この方向性をもとに、市民ワークショップや高校生とのワークショップなどの検討内容を踏まえて、基本構想相当部分の骨子を作成し、審議会で審議がなされます。

まちづくりの方向性①

- 子どもが育ちたいと思うようなまち
- 子どもがここで育てよかったと思うまち
- 子どもを産み育てたいと思えるまち

まちづくりの方向性②

- 豊かな暮らしができるまち
- ちょうどいい楽しいまち
- 自分のライフにワクワクできるまち

まちづくりの方向性③

- まちがなんとなく家族のようなまち
- 人と人が手を取り合い地域をつくるまち
- 多様性を認め合えるまち

・・・審議会で使用された資料は「別紙2」です

3 長期計画審議会での審議内容について

<行政経営の方向性について>

審議会の審議によって、以下の方向性が示されました。今後は、この方向性をもとに、市民ワークショップや経営基本方針策定検討委員会などでの検討内容を踏まえて、基本構想相当部分の骨子を作成し、審議会で審議がなされます。

行政経営の方向性

- 革新的なサービスを生み出す市民満足度の高い行政経営
- 町田市の強みと魅力を活かした戦略的な行政経営
- 市民から信頼と共感を得られる行政経営
- 市民の主体性を尊重し、多様な公共サービスの主体となる開かれた行政経営

・・・審議会で使用された資料は「別紙3」です

3 長期計画審議会での審議内容について

■まちづくりの方向性と行政経営の方向性についての議事概要

<まちづくりの方向性>

発言者 (敬称略)	質疑及び委員発言	対応の方向
三輪	これから人口減少の時代に入った時に課題に対して部門で解決を図ることはできず、複合的に対応していく必要がある。	まちづくりの方向性については、複数の分野をまたがることを意識して作成していく。
三輪	「子どもが育ちたいと思うまち」は、「子どもと共に育つまち」といった文言の方が良いのではないか	表現を検討させていただく。
大野	少子化対策に特化するのではなく、高齢化対策についても検討して良いのではないか。	要素としては高齢化についても盛り込んである。まちづくりの方向性の説明文などで、それがわかるよう表現を検討させていただく。
小林	20年後は「多様性を認め合う」ことが当然のことになっていることを考えると、「多様性を認め合い誰もが力を発揮できる」といった文言の方が良いのではないか。	表現を検討させていただく。
芳賀	愛着を持って安心して住み続けられる町といったことが一つのキーワードになると考える。	まちづくりの方向性の説明文などにキーワードとして盛り込んでいく。
安達	「安全安心」は大きな課題になると考えている。	まちづくりの方向性の説明文などにキーワードとして盛り込んでいく。
深澤	町田市の特徴がわかるような書きぶりにした方が良いと考える。	表現を検討させていただく。

<行政経営の方向性>

発言者 (敬称略)	質疑及び委員発言	対応の方向
深澤	町田市にも多くの外国人が流入すると考えられるが、それに対して行政がどのように対応するのか記載しても良いと考える。	要素としては「多様性」の部分に外国人も含む。
三輪	シビックプライドに関する記述を資料の中に入れても良いと考える。	キーワードとして盛り込んでいく。
安達	横文字を減らすといった工夫が必要であると考える。	表現を検討させていただく。

3 長期計画審議会での審議内容について

【第3回予定】2019年12月16日（月）

1 報告事項

- ・ 課題抽出用市民意識調査結果報告
- ・ 各種ワークショップの取組状況報告
- ・ 財政の現状と今後の見通しについて※

2 議事

- ・ まちづくりの方向性と都市像について
- ・ 行政経営の方向性と経営像について

【第4回予定】2020年2月3日（月）

1 報告事項

- ・ 各種ワークショップの取組状況報告

2 議事

- ・ (仮称) 2040なりたい未来（基本構想相当部分）骨子案について

※「財政の現状と今後の見通しについて」は、別紙4-1、4-2、4-3にて説明します。